

2022 年 6 月 9 日

西菱電機株式会社

『ＪＲ東海乗務報告アプリ』を東海旅客鉄道株式会社様に納入

西菱電機株式会社（本社事務所：大阪府大阪市、代表取締役社長：西井希伊、以下「西菱電機」）は、このたび乗務員の皆様の報告業務を効率化する『ＪＲ東海乗務報告アプリ』を開発し、東海旅客鉄道株式会社様（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：金子慎、以下「ＪＲ東海」）に納入しました。

『ＪＲ東海乗務報告アプリ』は、在来線に乗務する運転士や車掌の皆様が、乗務中に発生した様々な事象を共有するため、これまで手書きで作成・提出していた乗務報告書を電子化し、業務用スマートフォンで簡単に報告、データベース化を可能とするアプリケーションです。

ＩＣＴを活用した業務効率化によって、事故防止・サービス向上・業務改善等に取り組まれている、ＪＲ東海の乗務員や運用指令員の皆様のご要望を、当社のソリューションで解決することにより実現しました。

本アプリの活用により、大幅なペーパーレス化に加え、乗務報告書作成時間の短縮が可能となるほか、報告内容の一部を定型化することにより、記載誤りの防止や承認行為の時間短縮等にも貢献します。

また、蓄積された報告内容を分析することにより、今後の教育訓練や指導方法の改善に活用いただくことも可能です。

西菱電機は、様々な事業者様が現在直面しているＤＸや、働き方改革に向けた活動に対し、これまで培ったノウハウを活かして最大限支援することで、社会に貢献してまいります。

■『ＪＲ東海乗務報告アプリ』の概要

◆現在の業務

乗務報告書									
作成日 令和 年 月 日 曜日									
報告者名									
報告者 氏名 () 氏名 () 氏名 ()									
発生日時 令和 年 月 日 時 分									
発生場所									
乗車線 品川線 両国駅 両国駅 ()									
報告内容 報告内容 () 報告内容 ()									
関係者 所属 氏名 運輸士・車掌 氏名									
報告・承認 報告 承認									
備考 (乗務報告書と乗務報告書と記入する)									

＜乗務報告書＞

乗務中に発生した事象について、発生日時や状況、対応等を詳細に記載し、運輸区・指令等で内容を共有するための報告書

FAX送信

運輸区

紙で保管

「乗務報告書」を手書きで作成

◆『ＪＲ東海乗務報告アプリ』を使った業務

スマートフォンアプリ



データ送信

運輸区管理端末



データベース化

「乗務報告書」を、項目を選択し作成

※報告内容を時期、時間帯、発生箇所、個人等の分類毎に把握することが容易に。

◆『ＪＲ東海乗務報告アプリ』で報告する事象

- ・踏切障害物検知
 - ・防護無線受信
 - ・車内非常ブザー
 - ・動物等衝撃
 - ・非常ブレーキ
 - ・非常通報灯
 - ・トイレブザー
 - ・急病のお客様対応
- など、報告事象の約7割

◆使用開始時期

2022年6月15日（水）

■西菱電機株式会社

情報通信機器及びシステムの開発、販売、保守、運用を手がける「情報通信システム事業」、携帯情報通信端末の販売及び修理再生などを手がける「情報通信端末事業」を展開するICTソリューション企業です。

【本件に関するお問い合わせ先】

西菱電機株式会社 本社事務所：大阪市北区堂島 2-4-27 JR E堂島タワー

広報グループ（本社事務所）TEL：06-6345-4160

事業開発室（東京支社） TEL：03-5777-3977 E-mail：info@cs.seiryodenki.co.jp